

# JCD-KANSAI

昭和59年12月  
第3号

Japan Commercial Building Designers Association



## '84-OSAKA 商業環境会議 盛況に終る

昨年の東京会議を受けて大阪で開催された上記会議は予定を上廻る参加者を迎え、大阪の地域に密着したテーマ、パネラー等、総じて実りある会議を開催しました。

「歴史ある都市商業環境のあるべき姿を文化、デザインの切口から考えて行かねばならない。参加者皆様のパネラーとの意見交換の実でその目的を達しよう」……と渡辺理事長の開会宣言のあと、テキストとして配布した機関誌43号の内容によってプログラムは進行しました。

西協委員長の開催主旨、問題提起の木津川計氏の大阪を愛するがため、その土着的思考の中から京都、神戸との対比から大阪の都市環境、ひいては商業性について切口を提示されました。

4名の各界パネラーと会員スライドの組合せレクチャーは説得力があり、全体討議への足がかりとなりました。

旭、蔭山両委員のコーディネーターによる全体討議のプログラムでは、(1)都市、商業環境の文化性のストックについて京都、神戸と大阪を比較しての問題点 (2)アニメティの問題快適性 (3)コミュニティマートの立場から (4)これらを受ける商業環境の将来性を考えてゆく。以上4つの絞り込みの中からスタートしました。

木津川計氏：大阪はハートのない都市、伝統と文化の世界的スケールに大阪がコンベン

ション・シティーとしての基礎が弱いのではないかと。商業環境は、この国際的な文化・伝統の保全が最大の課題である。

藤田邦昭氏：今までのS. Cは流通の理論で成り立った過去から生活提案型の生活者主体の商環境づくりが本質になってくる。

香川英行氏：古くは道頓堀にプロムナードの環境設計で実現した街並みも落ち着き、その考え方をこの方針でやってゆきたい。

鈴木禎吾氏：住居地域内にコミュニティ拠点を設ける。文化と伝統、小単位のエリアに生活の潤い、諸施設が生れて行く。また、それが成功をおさめている現実の認識こそ大切である。大規模単数と小規模複数の二重構造の文化性拠点によって人間味を育くむ環境に変わりつつも、これらの運用ソフトがなければ問題である。

単なる物売りスペースでなくて“もの”発信型の環境に開発者、設計者、生活者が共に考えてゆく場づくりこそポイントである。

山家一千代委員の総括報告にも点的商業環境のルネッサンスでなく大きい地域、又、本質的に改革をすべきかどうか？ 大きな問題提起が今回の会議の骨格でもあったと思われる。

特別委員の諸氏には大変ご苦労さまでした。また、次回はすばらしい企画を期待したいと思えます。後援、協賛の各社様にも後述ですが、厚御礼申し上げます。

(M・O)



㈱布谷商業施設総合研究所 大石 淳

最近、各地で都市計画あるいは都市再開発が頻繁に進められているが、ほとんどの場合複雑な権利関係、人間関係などによって局部的なものに重点がおかれ、ややもすると都市の在るべき全体像というものが疎かになっていると思われる。今回の商業環境会議は、都市全体の在り方を見つめ直すということで、非常に意味深いものであった。

メインテーマとして「都市の文化性」ということが取り上げられた。高度成長期において経済第一主義によって捨て去られていった「はにかみ、はじらい」の欠如が乱開発を招いており、都市を人間の住みやすいものにする為には、その都市の持つ文化レベルを上げてゆく、つまり流通の理論から生活の理論への移行が必要であるというものであった。具体的な手法の例としてコミュニティーマート構想やアメリカ村の発展などが上げられたが、決定的な解決策には至っていないように感じられた。ただ、地域社会の土着性、庶民性というものに根ざした形で、自主的に参加してゆかなければ住みやすい街にはなってしまうように思う。

一時代前の社会において地域生活に密着したコミュニティーの場として鎮守の森、井戸端、路地裏、銭湯といったものがあり、子供の遊び場や地域の社交の場として利用されていた。そして、そういった場で隣近所あるいは各世代間でお互いにかかわりを持ち共通認識できる社会的ルールが形成されていた。現在では核家族化が進み世代分離によるコミュニケーション不足や価値観の違いによって文化性の継続の難しさが生じてきている。今後、文化性を高めてゆく為には安定化社会、各世代共存の社会を創り上げてゆく必要があるように思われる。そして自分の住んでいる場所

に対する愛着心を持ち、地域社会とのかかわりを認識し参加してゆくよう努力することが自分達の街を住みやすくしてゆく事であると思う。何しろ、これからの時代は、二十代、三十代の我々が創ってゆかなければならないのだから。

㈱乃村工藝社 宮崎 鏞輔

今回のタイムリーな企画は、日常雑事にかまけて、仕事を客観的に観る機会の少ない私にとっては、身体を清められる思いがしました。特に、木津川、藤田両講師の文化軸から見た商業軸（流通軸）の歪みに対する鋭い指摘には、ハッとする思いがしました。

自分がいつしか、流通業、つまり圈き込む側の利権の代弁者になっている事を氣にとめながらも、又、次の「創っては壊し、壊しては、又創る」ことに精出す訳で、長い眼で観れば、それは決して後世に連なる意味を持つ程のモノでないことも理解しているが……

ほんのちょっぴりの地域還元（生活者・住人）と、ほとんど大部分の企業側の利益を掲げるべき立場と、文化性までも利益にしまいかねない現在の流通側の理論の最先端で、むやみに蝕めている様子は、もはや滑稽に見えることさえある訳で、こんなに悩み深い同胞が、JCDに多いのではと、考えさせられた次第であります。

街や、その取り囲く環境を多少なりとも好ましい状況にしようという思いは、誰しも同様であろうと思いますが、結果的に仕掛ける側のエゴや、マスターベーションとして受け取られている事実を、我々は他人様の様に感じすぎではなかったか、今回のセミナーの講師の方々が、この点を強く指摘され、警鐘を鳴らされている事を卒直に受け留めなければならぬ訳です。

コマースペースがますます面白くなってきた。

装飾用ガラス・ミラー

deep

ハイミラー  
LUMI COLOR

ARTIUMI

Wall Color

Passkey

◎ 日本板硝子

本社 〒541 大阪市東区道修町4丁目8番地 TEL (06) 202-1161 (代)  
大阪支店 〒541 大阪市東区道修町4丁目8番地 TEL (06) 203-3851 (代)

今後、JCDとしての活動の中で、流通理論と対峙できる程の文化性、人間性の理論軸を構築していく方法を考えるべき時期に至ったと、つくづく感じさせられました。

こういった観点からいえば、「実践的対応」としての見解発表に、今、一つの盛り上がり、と、迫力がなかったのは残念ながら仕方ないことだったのかも知れません。

㈱ゼニヤ 安藤一富

今回の大テーマに対して、様々な方向に分解した上での、諸先生方の退屈を感じさせないたくみな話術で非常に有意義な時間を過ごさせていただき、ありがとうございました。

会議が終って、もう一度内容を振り返ってみると、何かもう一つ自分の頭の中が整理されず、それを考えると、話による一般概念とスライドによる結果の報告、そのプロセスが理解しがたく何か表面だけを見たような印象でした。やはりコミュニティーマートを理解するには、その“文化”についての理解を深めないと方向性が見いだせない様な気がいたします。今後の会議に期待したいと思いますのは、今回は“さわり”としては成功だったと思いますが、一回の会議で全てを理解するのは無理だと思いますし、段階をふまえての、「テーマ」を設定していただいて、いわゆる庶民性や土着性といった“文化”に対して、皆がコンセンサスを得られる様、又、理解できる様に長い眼で今回のような場を設定いただければ幸いです。今日の日本の商業空間の多くに文化のない真似ばかりの環境が見受けられますが、丁度お話にありました「ゴールが見えていない21世紀計画」が、今の日本の商業環境を象徴している様に思えます。今後の御活躍に大いに御期待いたしております。

㈱船場 笹木秀近

あらゆる価値が問い直され、都市と商業と人の新しい価値の再創造が求められている今、今回のテーマは、時代に対応した良いテーマだと思う。特に木津川先生の「燦く都市にはにかみを」は、楽しさと新しさがあり、後に残り好印象であり、また、見解発表の各先生方のテーマはどれも魅力あるものでしたが、残念ながら講演時間があまりにも短かく十二分な内容が受講者側に伝わってこなかった様に思われる。JCDももっと社会的権威のレベルUPをはかり、大阪一般市民、また、デザインや設計専攻の学生など、社会に商業環境の重要性と提言を発表し、会場は商業環境会議らしくもっと工夫と演出の「らしさ」を打ち出せばもっと熱気と雰囲気でもり上がったのではないかと思う。開催主旨、目的を単純明確にし、JCDの会員教育、会員募集、各官公庁関係者の出席だけでなく幅広い参加者導入で商空間環境のイベントなど、もっと夢と希望と楽しさが導入され参加者も若者をふやし、ディスカッションなど、都市と商空間と人の深い関わりを人々に提案し、社会に提言出来る“日本商空間設計家協会”であってほしいと思い、次回をおおいに期待いたします。

#### MINI WORD

＊朝立ち族＊

“そりゃあ若いときは”……これは勘違い。朝早く起きだして出社前に一遊びしてくるサラリーマンのこと。サラリーマンにとって唯一のオープントイムは早朝。

これを活用して英会話スクール、トレーニングジム、テニススクール等に迷うサラリーマンが増えている。

“二日酔いが日課では三文のそん???”

イタリアムードの高級彫刻ガラス

HOSAKA  
madras  
マドラス glass

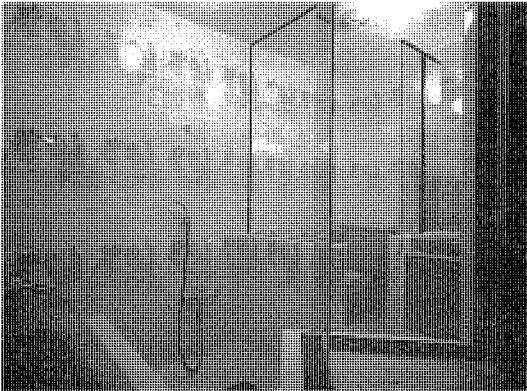
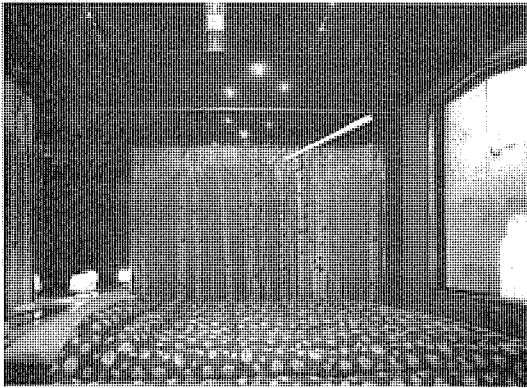


保坂硝子株式会社

大阪支店 大阪府東大阪市菱江758-1 〒578 ☎0729(65)2391(代)  
本社 東京都台東区松が谷3丁目13-5 〒111 ☎03(842)5821(代)

## デザインにおける硝子素材の活用 イメージの演出

ヒロデザインルーム 老田徳廣



透明度の良さに強度・平行平滑が加わり又、防音・熱・風圧・衝撃強度が増し近年特に建築素材として硝子の使用が多くなり公共施設においても視界を広く取る以上の意味付を持って多く使用されている。

透明な美しさに表面加工・複層・サンド加工に移り色彩がほどこされ窓・間仕切以外に壁・床・天井等内装仕上材としても使用範囲が広がって来た。特にカラー硝子の出現により商業空間から生活空間にまで使われシンプルな平面体に写り込む対面・斜面造型に光が加わりその演出度が一般カガミを使用した時の様に、にぎやかに、広々と、キラビヤカそして着落が無いと云う面が取り除く事が安易で、

室内の色彩等々にもうまく当てはめる事が出来る。私は良く予算はないが、少しゴージャスな天井演出を考えた時ハーフミラーの照明器具を一部に集めその光をカラー硝子に写し出す。その時室内カラーが同系な時、光のみが写し出されファンタジックな広がりが生れ、又、柱型等出張った面のみに硝子を貼りモノトーンにすればモダンなイメージに又コントラスト（対比感）を出さずに使用すればナチュラルな空間が出来他の素材と違って光沢が有る分清潔感も得られる。せまく区切った空間には自己防護感が得られ確立された自己スペースに満足出来るが、広々としたスペースに有る豪華で自由なイメージは無い。オープンな空間作りを考えた時スペース確保がくずれ、自己防護感もなくなる。そんな時硝子スクリーンの使用は最適でカット硝子での柄入等は表面光沢角度の美しさは楽しい。私自身乱暴に扱えばすぐにこわれる恐さに、可憐なる処女の魅力を感じこよなく愛するがごとく硝子を使用している。

## ガラスと私

設計同人ADA亀井設計室 亀井克二

私は工事中の現場に立ち会るのが好きである。イメージされ、図面化されたものが次々と現実のものとなって組み上ってゆく感動は、この職業を選んだ喜びとなって次のデザインワークへの活力ともなっている。時を経るごとに空間が間仕切られ、化粧され完成に至る工程は、当初イメージされたものであっても、初々しい感動を与えてくれる。

その中でのハイライトは、やはり工事の最終工程としてのガラス工事である。その本質としてもつデリカシー故に、やさしく扱われ気づかわれたガラスが、機械に吊り上げられ予定された場所にはめ込まれてゆく。室内の



Hakuishi

INとOUTを光で結ぶ  
いまガラステアが新しい

ビベルドガラス

AQUA CRAFT

株式会社 白水社

(06) 252-4501

(03) 669-1221

スクリーンとして考えられた半透明のガラスがはめ込まれてゆく。又ガラスブロックが積み上げられてゆく。その存在感が無きが如しのものと言わぬガラスが、空間に大きな存在となりそれ自身の色を帯びて浮び上ってくる。考え込まれたイメージが彷彿と浮び上ってくる。

自身の有様は冷くただただ平面的な無機質のガラスが、生活機能を持った有機的な存在として空間を構成してゆく。時間の推移につれて空間はひきしまりイメージそのままのものとして完了してゆく……………。

私のイメージの中では、その様なドラマを現場ごとに演出してくれるデリケートでありながら大きな存在となっている。



## 可能性への挑戦

インフォメーション建築デザイン室 村上忠央  
情報委員さんから突然く硝子素材の活用についての原稿依頼を受け、何を書いていいのか悩みました。

元来、店舗に硝子素材を使用しているが、書こうと思うとなかなか書けないので、私の設計した店舗における使用例を取り上げて書きました。〈これからの設計に役立つ一例にさせていただけたらと思います〉。

神戸元町商店街の中心に位置する洋服店（

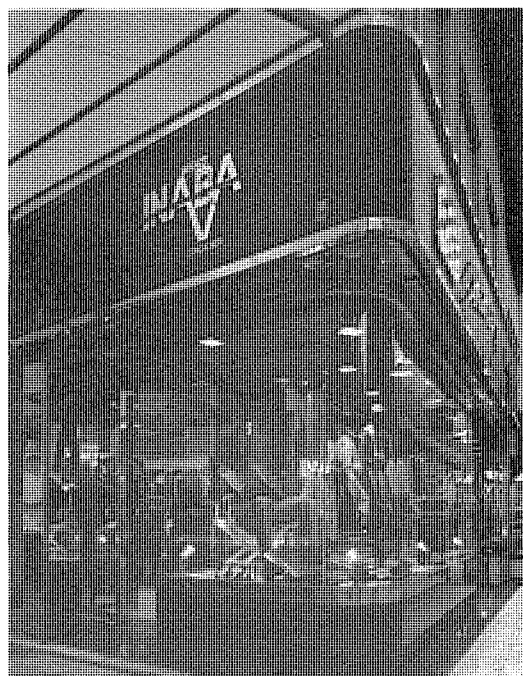
イナバ）の設計における二面曲げ硝子スクリーンのプランについて書きます。

プランに入る時、旭硝子（ガラスプラザ）において二面曲げ硝子加工（H=1800×W=4800）技術の可能性についての打合せから進めた。しかし、結果的に不可能という事になった（本来、一面曲加工硝子と直板硝子との付き合い合わせ方法）が、メーカーに具体的な実現方法についての打合せの結果、特注加工工場を紹介していただき、別注品として完成することができた。

この硝子の現場施工の時、施主から〈これは神戸で今まで見たことがない硝子〉との言葉をいただき心から感謝しました。

ただ、一店舗の設計ですが、自分の持っている表現（デザイン）と、それを完成させる最大の勉強が、自分の仕事（店舗設計）の足跡として残る良い勉強になりました。

硝子素材の活用と言うタイトルからポイントがずれましたが、よろしく。



フォトディスプレイのご用命はトータルシステムで頼れる

**堀内カラーのフォト・デコア**  
企画より撮影・制作・施工まで一貫体制



〈コダック・プロフェッショナル製品〉特約販売店  
株式会社 堀内カラー現像所

大阪現像所 ☎(06) 313-2351(代)  
京都営業所 ☎(075) 801-2673(代)

## オメガサービスセンター キタハラ

神戸市中央区西元町

設計 シイベル時計株式会社

吉田博文

施工 株式会社 上谷製作所

後呂武司 小西武志



専門店への期待が高まりつつあるなか、神戸市元町にあるキタハラ時計店の20年ぶりの改装は、オメガの専門店としてのイメージアップを計るとともに、専門店の基本的な姿勢の充実を打ち出している。ブランドの 카테고리別独立ウィンドは商品の優雅さや気品を引き出し、商品の個性をきわ立たせる効果を高めている。土地柄、外国の固定客も多く、洗練されたセンスの客層がほとんどである。

## バラエティフーズ トミヤ

大阪市東区高麗橋3丁目11

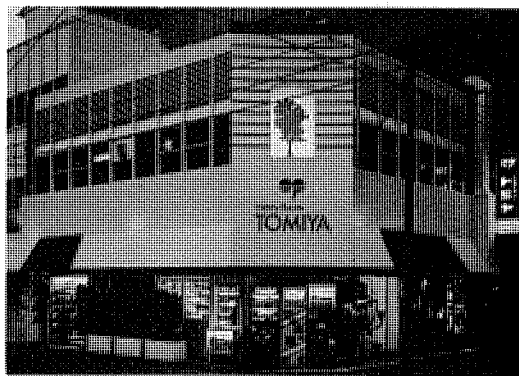
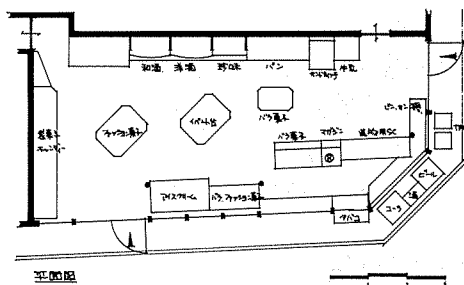
設計 株式会社 アート建築デザイン

別役禎彦・寺田猛志

施工 同上

大阪・北浜のオフィス街の中心にあり、現代駄菓子屋（バラエティー・フーズショップ）と云ってもよいこの店は、酒・菓子・キャンディー・サンドイッチなどを取り扱っている。

出勤時、屋食時、退社時と三つの来店のピークがあり、いずれも、オフィスの堅苦しい雰囲気から、解放されたひと時を、少しでもリラックス出来るように、明るいきらびやかな雰囲気と回遊性の存るレイアウトで構成した。B・G・Mを外部へ流し、朝は、小鳥のテープで、往来する人たちへ、なごやかさを提供している。尚、喫茶部門も併設されていて、退社時にはサラリーマンに、居酒屋として多く利用され、オフィス街で、朝から晩まで、憩える場として、支持を得ている。



店舗装備 造作家具 室内装飾 設計施工

## 株式会社 上谷製作所

大阪市西成区天下茶屋2丁目18番33号

TEL(06)661-7031(代表) FAX(06)661-7033

## ファミリードラッグ YAX

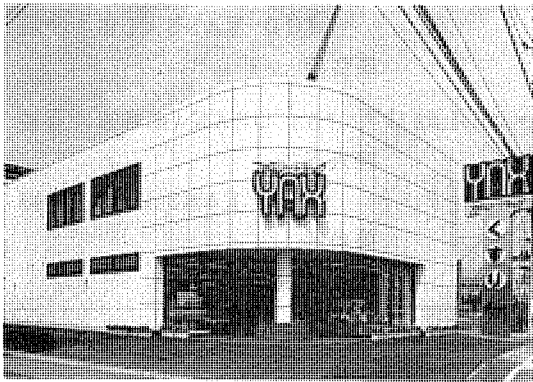
広島県府中市中須町 1088-1

設計 株式会社 若い街 奥村丑松

施工 株式会社 若い街

広島県府中市の産業道路沿いに、敷地坪数160、建坪数60のファミリードラッグYAXがオープンした。近くには、自動車の販売会社や田畑が目立ち、民家は余り見られない。経営者の盛岡先生の団魂の世代やシルバーエイジの為に子供をつれてこれる薬局でしかも、薬局くさくない薬局を、との意図で商品構成も医薬品、日用雑貨、ベビー用品、シルバーエイジ商品と楽しさのあるファンシーバラエティー用品にも、かなりのスペースをさいている。外装はホーロー網板を使ってシンプルな感じを出し、ネオンサインで暖かさを出してみた。店内は、クスリコーナーは白を基調色にして清潔感を出し、ファンシーバラエティーコーナーは、オレンジ色を使ってかわいらしいイメージづくりをした。

2階は当初空家であったが、現在ジャズダンスの教室や、塾の入居者を募集しているとのことである。立地的にはこれからの場所なので、地域住居に密着した販売や商品構成の面で、いろいろ検討が必要だろう。ちなみに本店は隣町の新市町の商店街にあり、年商1億円近い実績をあげている。

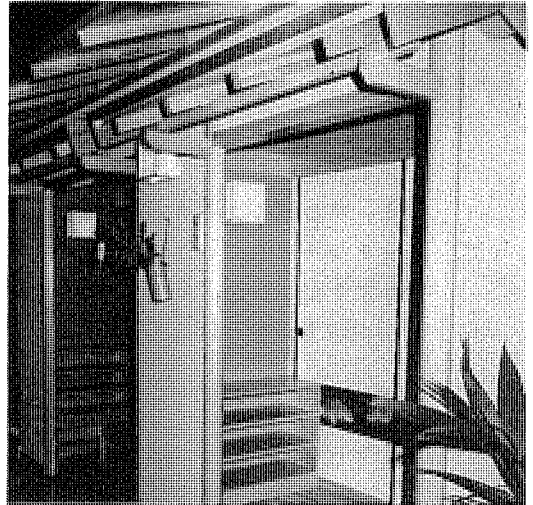
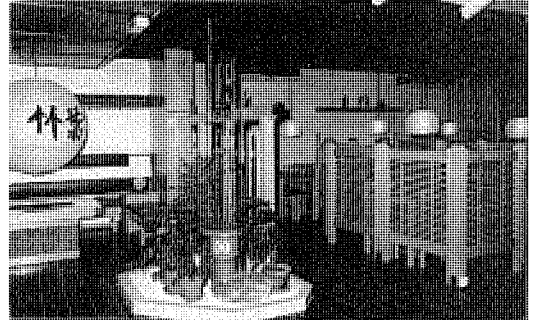


## 竹葉亭 マレーシア ペナン店

設計・監理 もりを建築設計事務所

竹内盛夫

施工 マレーシア現地業者



大阪中ノ島、うなぎの竹葉亭が本店であり10年前に出店し、58年には、マレーシアクアラルンプール店を新装移転し、海外店としては2号店となる。ペナン市の中央に位置するマリンホテルの2階にあり、ホテルの和食のダイニングとしての役割りも兼ねている。150坪の広さで、厨房、倉庫、事務所等で50坪を使用し客席100坪の広さである。現地での材料調達であったので監理のうえで大変苦労した。

和室3室と洋室1つ、寿司、鉄板コーナーとに別かれている。

### JCD 常任理事、太田真昭氏知事賞受賞

関西支部、情報委員長でもあられる太田氏が菊薫る11月6日、大阪府より知事表彰をお受けになりました。太田氏は日本ディスプレイデザイン協会の常任理事でもあり、両業界に多年にわたっての業績を評価されたわけで、デザイン、設計を同じくする我々に大きなげみをつく

つて頂いたと思います。11月9日、受賞パーティが大阪デザインセンターでおこなわれ、その節、お奥様、お嬢さんから、太田さんのご家族でのおやさしい、心暖まるお話があり、仕事でも、家庭でも常に変わらない人となり、会場の一同から拍手の渦でありました。太田さんこれからも業界のためよろしくお願い致します。



## お知らせ

「'84・年忘れパーティー」のご案内

今年もあと残りわずか、いろんな催しのあ  
る季節がやってきました。

我がJCDも今年一年の締めくくりとして  
「'84・年忘れパーティー」の開催を、お知  
らせいたします。

日 時 12月21日  
PM 6:30 ~ 8:30  
場 所 せいりゅう鹿鳴館  
南区東清水町南警察署前  
会 費 一名様 ¥6,000.-

何かと忙しく、気ぜわしい年末へ向います  
が、ぜひ、たくさんの会員さんにご参加いた  
だいて楽しく、ゆかいにコミュニケーション  
の花咲くパーティーにしたいと思ひます。  
ふるってご参加くださる様、願ひします。  
\*詳細は、案内状をお送りいたします。

## ●新入会員、賛助会員推薦、紹介のお願い

新年に向い、よりパワーのあるJCDをめ  
ざし、会員・賛助会員の拡充運動を実施して  
います。

ぜひ、一名・一社のご推薦・ご紹介を、お  
願ひいたします。

組織委員会 要 信行

## MINI WORD

### ※デジン※

コンピューター、通信機器さらには、テレ  
ビ、オーディオ、世の中デジタル技術真っ盛  
り。アナログ時計、OA機器操作は女子まか  
せのデジタル落ちこぼれ中年族を、若者達は  
“デジン”と呼んでいる。 T・H

## 常設委員会報告

### ●組織委員会

- 9月28日 '84 OSAKA商業環境会議  
参加者動員計画について  
新入会員、賛助会員拡充に  
ついて  
忘年会の企画について

- 10月26日 '84 OSAKA商業環境会議  
参加者動員計画について  
忘年会の企画について  
新入会員の拡充について

### ●研究開発委員会

- 9月17日 '84 OSAKA商業環境会議  
企画特別委員会
- 10月8日 '84 OSAKA商業環境会議  
企画特別委員会
- 10月29日 '84 OSAKA商業環境会議  
企画特別委員会
- 11月5日 '84 OSAKA商業環境会議  
企画特別委員会

### ●情報委員会

- 9月3日 '84 OSAKA商業環境会議  
経過報告  
JCD KANSAI 第3号編  
集会議
- 10月22日 '84 OSAKA商業環境会議  
経過報告  
JCD KANSAI 第3号編  
集会議

### ●編集後記

・11月中に発行の予定であったが、商業環  
境会議の取材のため遅れましたことお詫びい  
たします。

次回新年号は今まで以上、皆様に期待され  
る内容にするべく担当者一同頑張りますので  
よろしく願ひいたします。 (S)